

副知事あいさつ要旨

皆さんおはようございます。本日は本年度第4回目となります行財政改革推進委員会を開催いたしましたところ、年度末を控え、何かと公私ともにお忙しい中をご参集賜りまして、誠にありがとうございます。厚くお礼を申し上げたいと思います。

さて、先だって、平成24年度の当初予算案を発表いたしまして、今、開催中の第1回定例県議会でご審議をいただいているところでございます。予算総額は5千856億6千万円で、昨年の肉付け予算後と比較いたしますと、約126億円ほど少ない額になっております。これは主な理由として、国の補正で措置をされました各分野にわたる基金事業が廃止・縮小されまして、減額になるということでございます。こうした中でも、来年度は、昨年見直しを行いました長期総合計画「安心・活力・発展プラン2005」の実行初年度ということで、各分野にわたって、見直し後のプランの趣旨に沿ったいろいろな新しい政策、事業を知恵を出して盛り込んでおります。それで事業費の減は、約90億円に留めるということで、実質的には積極的な選択と集中に配慮した予算となっております。当初予算の詳細につきましては、後ほど担当の部長から説明をさせていただきたいと思います。

また、見直し後のプランを行財政改革面で下支えをする「行財政高度化指針」につきましては、前回、1月20日の当委員会でご審議をいただきまして、大変多様なご意見・ご提言をたくさん賜りました。このほかにパブリックコメントを通じて県民からの意見もいただき、さらに今開催中の県議会などからもいろいろご意見を賜っております。また、県民に分かりやすい表記にしようという修正も加えまして、第2次素案を策定いたしました。本日は、その内容についてパブリックコメントや議会等でいただいた意見を踏まえまして、後ほど担当課長から説明させていただきたいと思います。また、さらなるご意見も賜りたいと思っております。

このほか、プランの実行初年度になりますので、それに見合った「組織改正の概要」、あるいは「マリノカルチャーセンターの指定管理者の選定の結果」、さらには「互助会の県負担金の見直し」や「OITAチャレンジ運動」を今年もやっておりますので、そういった内容についてご報告申し上げ、また、ご議論もいただきたいと思います。委員の皆様方の積極的なご意見、ご提言を賜りたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。